< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 悠仁福祉会	事業所名	複合型施設 鳳凰槇島
所在地	(〒611-0041) 京都府宇治市槇島町大川原 35-5		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

月2回のケア会議を開催し、介護職と看護職の協働による一体的なサービス提供の実施に努めており、医療ニーズの高い利用者についても、可能な限り積極的に受入れするように努めている。

また、自治会や隣接する事業所との合同秋祭りの開催や、地域住民も参加できる行事等を多数開催し、地域に開かれた施設づくりに努めている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価		従業者等自己評価		
実施日	西暦 2018 年 12 月 20 日	実施人数	(14)人	※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2019 年 1 月 16 日	出席人数(合計)	(12)人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	■自事業所職員(5人)□市町村職員(人)	■地域包括支援セ	ンター職員(1 人)	■地域住民の代表者(2人)
H1/11, E (1, 11/1/)	■利用者(2 人) ■利用者の家族(2 人)	□知見を有する者(人) □その他(人)

■ 前回の改善計画の進捗評価

	項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運 (評価項目		・引き続き、地域運営推進会議にて受けた要望や助言をもとに、各所属長が参加する鳳凰槇島の運営会議で改善等に繋げる活動を継続していく。	・H30年度より、自治会長へ地域運営推進会議の参加を依頼し、地域の要望等を吸い上げられる環境を整備した。	・引き続き、積極的に地域に出て行き、 地域の要望等に応えられる開かれた事業 所づくりをしていく必要がある。
		・有事に備え、迅速に対応できるように、 継続して訓練を実施し、訓練結果を地域 運営推進会議にて報告していく。	・有事に備え消防訓練及び水害対応訓練 を実施した。訓練結果は、地域運営推進 会議にて報告している。	・有事に備え、迅速に対応できるように、 継続して訓練を実施していく。
Ⅱ.サービ ス提供等 の評価	1. 利用者等の 特性·変化に応 じた専門的な サービス提供 (評価項目 11 ~27)	・24 時間に着目したアセスメントを基にした具体的なサービス提供を実施していく。	・必要に応じて、24 時間に着目したアセスメントを基にケアプランを作成するようにしている。	・引き続き、24 時間に着目したアセスメントを基にケアプランを作成していく必要がある。
	2.多機関・多職種との連携 (評価項目 28 ~31)	・生活全般に着目したインフォーマルサポート等のケアの提案を実施し、必要に応じてサービス向上委員会での会議結果を地域運営推進会議にて報告していく。	・利用者のために考えられるインフォーマルサポート等を含めたケアの提案が実施できるように、月1回検討会議を実施しているが、ケアの提案にはいたっていない。	・引き続き、生活全般に着目したインフォーマルサポート等のケアの提案が必要である。

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目32~41)	・引き続き、鳳凰槇島の役割や機能について情報発信し、地域との交流を更に深めていく。	・月1回の機関紙の配布や、地域との交流行事や介護者交流会等を通じて、鳳凰 槇島の役割や機能について情報発信し、 地域との交流を深めることができた。	・引き続き、鳳凰槇島の役割や機能について情報発信し、地域との交流を深めていく。
Ⅲ. 結果評	価	・利用者及びその家族等が在宅での療養	・アンケートを実施し、アンケート結果	・継続してアンケートを実施し、地域運
(評価項目	42~44)	生活に対し、安心感が得られるように継	を地域運営推進会議で報告した。	営推進会議にて報告していく。
		続的にアンケートを実施し、地域運営推		
		進会議にて報告していく。		
		・引き続き、看取りについて継続的な研	・看取りの研修会を実施し、看取りにつ	・引き続き、看取りについて継続的な研
		修会等を実施し、医療ニーズの高い利用	いての必要性や各職員の役割について理	修会等を実施し、医療ニーズの高い利用
		者の在宅での療養生活を支える環境を整	解をすることができたが、実施までにい	者の在宅での療養生活を支える環境を整
		える。	たっていない。	える必要がある。

^{※「}前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

	項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)		・引き続き、積極的に地域に出て行き、地域の要望等に応えられる開かれた事業所づくりをしていく必要がある。 ・有事に備え、迅速に対応できるように、継続して訓練を実施 していく。	・積極的に地域に出て行き、地域の要望等に応えられる開かれた事業所づくりに努める。
II. サービ ス提供等 の評価	1. 利用者等の 特性·変化に応 じた専門的な サービス提供 (評価項目 11 ~27)	・引き続き、24 時間に着目したアセスメントを基にケアプランを作成していく必要がある。	・24 時間に着目したアセスメントを基にケアプランを作成する。
	2.多機関・多 職種との連携 (評価項目 28 ~31)	・引き続き、生活全般に着目したインフォーマルサポート等のケアの提案が必要である。	・生活全般に着目したインフォーマルサポート等のケアの提案 に努める。
	3. 誰でも安心 して暮らせる まちづくりへ の参画 (評価項 目 32~41)	・引き続き、鳳凰槇島の役割や機能について情報発信し、地域との交流を深めていく。	・医療ニーズの高い利用者を積極的に受入れる。
Ⅲ. 結果評(評価項目		・継続してアンケートを実施し、地域運営推進会議にて報告していく。 ・引き続き、看取りについて継続的な研修会等を実施し、医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える環境を整える必要がある。	・看取りについて継続的な研修会等を実施し、医療ニーズの高 い利用者の在宅での療養生活を支える環境を整える。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
т	□ 事業運営の評価 「適切な事業運営						
		5]					
	理念等の明確化	car vetov	> > 6 tota		والمديات مد		
(1)	看護小規模多機能型居宅介護の特	評徴を踏ま /	えた理念等	の明確化と	その実践		
1	O サービスに求められる「①医	0				特になし。	✓ ①~⑤の全てを含む理念等がある
	療ニーズの高い利用者の在						場合は「よくできている」
	宅生活の継続支援」、「②在宅	[具体的な	状況•取組	 [内容]			✓ ①~⑤の一部を含む理念等が掲げ
	での看取りの支援」、「③生活	鳳凰槇島	の理念を	事務所に打	曷示してお		られている場合は、「おおよそでき
	 機能の維持回復」、「④家族の	り、事業	計画にも訂	遺載されてい	いる。		ている」もしくは「あまりできて
	 負担軽減」、「⑤地域包括ケア	, , , , , , ,			•		しいない!
	への貢献」を含む、独自の理						✓ 独自の理念等が明確化されていな
	念等を掲げている						い場合は「全くできていない」
	必要を拘りている						(物口は 主 (くら () いない)
				I	I		
2	〇 サービスの特徴および事業					特になし。	✓ 「サービスの特徴および理念等を
	所の理念等について、職員が						踏まえた実践」の充足度を評価し
	その内容を理解し、実践して	[具体的な	ネ状況・取組	[内容]			ます
	いる	鳳凰槇島	の理念を領	朝朝礼時	に出席者で		✓ 独自の理念等が明確化されていな
		唱和して	いる。				い場合は「全くできていない」
		_					

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(2)	 人材の育成	V .D	·v	<u> </u>	4		
1	専門技術の向上のための取組						
3	○ 職員との話し合いなどを通					特になし。	✓ 「育成計画の作成」の状況につい
	じて、各職員の中長期的な育	0					て、充足度を評価します
	成計画などを作成している	[具体的な	↓状況・取組]内容]			✓ すべての職員について育成計画な
		教育訓練	計画書を作	作成し、それ	れに基づき		どを作成している場合は「よくで
		研修を実	施している) _o			きている」
		また、新	規採用職員	員についてに	は、プリセ		✓ 育成計画などを作成していない場
		プター制	度による教	対育を実施し	ている。		合は「全くできていない」
4	O 法人内外の研修を受ける機	0				特になし。	✓ 「専門技術の向上のための日常業
	会を育成計画等に基づいて						務以外での機会の確保」について、
	確保するなど、職員の専門技	[具体的な	↓状況•取組]内容]			充足度を評価します
	術の向上のための日常業務	月1回の	研修に加え	え、鳳凰槇,	島全体でも		
	以外での機会を確保してい	月1回の	研修を開催	量している。			
	る	また、認	知症介護第	美践者等養	成研修など		
		の外部研	修にも積極	動に参加し	ている。		
2	介護職・看護職間の相互理解を済	そめるため	の機会の確	保			
5	O 介護職・看護職・介護支援専					特になし。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度
	門員の間で、職員が相互に情						を評価します
	報を共有する機会が、確保さ	[具体的な	↓状況・取組	[内容]			✓ 例えば「利用者等の具体的なケー
	れている	毎日、朝	に申し送り	を実施して	おり、月2		スについて話し合うための、定期
		回ケア会	議を開催し	ノ、利用者の	の情報を共		的なカンファレンスの開催」など
		有してい	る。				が考えられます

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(3)	 組織体制の構築			Į v	V		
① j)反映					
6	O 運営推進会議で得られた要					特になし。	✓ 「得られた要望・助言等のサービ
	望、助言等を、サービスの提		0				スへの反映」の視点から、充足度
	供等に反映させている	[具体的な	· <u> </u>	<u>.内容]</u>	I		を評価します
		地域運営	推進会議に	て要望や見	助言等があ		
		れば、各	所属長が出	出席する鳳凰	凰槇島の運		
		営会議に	おいて報告	言するとと さ	もに、サー		
		ビスの提	供等に反映	としている。			
2 1	職員が安心して働くことができる	就業環境の	の整備				
7	O 職員が、安心して働くことが					特になし。	✔ 「職員が、安心して働くことので
	できる就業環境の整備に努						きる就業環境」の充足度を評価し
	めている	[具体的な	状況・取組	内容]			ます
		就業時間	は、8.5 時間	間拘束(7.5	時間勤務、		✔ 例えば、「職員の能力向上の支援」、
		1時間休憩	憩) と他施	設より短く	、働きやす		「精神的な負担の軽減のための支
		い職場づ	くりに努め	ている。			援」、「労働時間への配慮」などが
		また、平	成 30 年度	も有給休暇の	の取得を推		考えられます
		進し、ス	トレスチェ	ックを実施	巨している。		

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方	,,, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(4)							
1) 7	利用者等の状況に係る情報の随時	デ更新・共7	有のための	環境整備			
8	O 利用者等の情報について、随					特になし。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間
	時更新を行うとともに、必要		0				で迅速に共有するための工夫」の
	に応じて職員間で迅速に共	[具体的な	状況・取組	内容]			2つの視点から、充足度を評価し
	有できるよう工夫されてい	介護記録	を電子化し	、共有を図	つている。		ます
	3						
(5)	安全管理の徹底						
1) 2	各種の事故に対する安全管理						
9	O サービス提供に係る利用者	0				よくできているで良い。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」
	等および職員の安全確保の						の充足度を評価します
	ため、事業所においてその具	[具体的な	状況•取組	内容]			対策が求められる事項としては、
	体的な対策が講じられてい	事故が発	生した場合	は、コーク	ルバック連		例えば「医療・ケア事故の予防・
	る	絡書を作	成し、再発	於此対策	を立案し、		対策」、「交通安全」、「夜間訪問時
		対策が有	効であった	かを1~3	ヶ月後に確		の防犯対策」、「個人情報保護」な
		認してい	る。				どが考えられます
		ヒヤリハ	ットについ	ては、安全			
		会におい	て情報を集				
		防止でき	るように対	策を立案し	している。		

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
75		できて いる	できてい る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
2	災害等の緊急時の体制の構築	, ,	1 9	i .			
10	O 災害などの緊急時において					特になし。	✓ 「緊急時におけるサービス提供の
	も、サービス提供が継続でき		0				ための備え」について、充足度を
	るよう、職員、利用者、関係	[具体的な	∜状況・取組	内容]			評価します
	機関の間で、具体的な対応方	防災計画	を作成し、	年2回の防	方災訓練、		✔ 例えば、「安否確認方法の明確化」、
	針が共有されている	年1回水	害対応訓練	を実施して	こいる。		「連絡先リストの作成」、「医療材
							料などの確保」、「災害時ケアのマ
							ニュアル化」などが考えられます
П	サービス提供等の評価						
1. 7	利用者等の特性・変化に応じた専門	門的なサービ	ごス提供				
(1)	利用者等の状況把握及びアセス	メントに基っ	がく計画の作	成			
1) 5	利用者等の 24 時間の暮らし全体	に着目した	、介護・君	重護両面かり	うの一体的な	よアセスメントの実施	
11	O 在宅時の利用者の生活状況		0			特になし。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮ら
	や家族等介護者の状況等を						し全体に着目したアセスメント」
	含む、利用者等の 24 時間の	[具体的な	状況•取組	内容]			の充足度を評価します
	暮らし全体に着目したアセ	MDS-HC	を使用し、	全方位的	こ情報を集		✔ ケアが包括的に提供される看護小
	スメントが行われている	約し、領	域選定にて	「アセスメ	ント視点を		規模多機能型居宅介護において
		深めてい	る。		は、家族等を含めた24時間の暮ら		
					し全体に着目したアセスメントが		
							必要となります

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号	HI IM VI	できて	できてい	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
12	O 介護職と看護職がそれぞれ	いる	3	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	特になし。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメ
	の視点から実施したアセス		0				
	メントの結果が、両職種の間	「旦体的な	└ ᠺ状況•取組	└──── 内突]			度を評価します
	で共有されている				ケアプラン		✓ 介護・看護の両面から行われたア
			. ,,		し、必要に		セスメントの結果は、その後のつ
					プランを作		き合わせなどを通じて、両職種で
			たで共有し		/ / V Z IF		共有されることが望ましいといえ
				と実施評価	生)で量で		ます
							A 9
		,	_ , , ,	_~>\\\ (\(\) \	退拠を確認		
		している。	0				
2 5	利用者等の「尊厳の保持と自己実	[現の達成]	を重視し	た計画の作	成		
13	〇 家族を含む利用者等の考え					特になし。	✔ 「家族等の考えを含めた計画の作
	を把握するとともに、その目						成」について、充足度を評価し利
	標の達成に向けた計画が作	[具体的な	状況•取組	内容]			用者のみでなく、家族等の考えを
	成されている	アセスメ	ント結果を	とふまえた。	ケアプラン		適切に把握するとともに、その考
		案を介護	職及び看護	護師へ配布	し、家族及		えを含めた計画を作成することは
					たケアプラ		重要であるといえます
		,,		認している			
		5	A W HE	-,-2 0 0 0	- 0		

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
14	O 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	アセスメ 案を介護 の有する	職及び看護	ようまえた。 美師へ配布 いしたケア	ケアプラン し、利用者 プランとな	特になし。	 ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
3 5	 利用者の今後の状況変化の予測と	 :、リスク ⁴	 管理を踏ま	 えた計画の	 作成		
15	○ 利用者の今後の状況変化の 予測と、リスク管理を踏まえ た計画が作成されている	○ [具体的な アセスメ 案を看護 を取り入 る。 また、月	で状況・取組 ント結果を 師へ配布し れたケア 2回開催し 況変化に応	内容] とふまえた。 ハ、必要に プランを f	TFRX ケアプラン が成してい で成してい ア会議にな で会談にお でのいたが	特になし。	 ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて いる	できてい	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(2)	 利用者等の状況変化への迅速な		る マネジメル		V'		
	継続したアセスメントを通じた、				し計画への		
	· · ·	利用有 守い	74人儿友16	Vノ ヤが 1に1年 	: C pl 画* * Vフ/		
16	O サービス提供を通じた継続		0			特になし。	✓「早期の把握」と「計画への適宜
	的なアセスメントにより、利						反映」の2つの視点から、充足度
	用者等の状況変化を早期に	[具体的な	状況•取組	内容]			を評価します
	把握し、計画への適宜反映が	入院後等	の状態変化	2や、要介記	護認定の変		
	行われている	更時はも	ちろん、ク	アプランの	の短期目標		
		も、利用	者によって	(6ヶ月の)	設定とし、		
		適宜見直	しを実施し	ている。			
2 /	└────────────────────────────────────	· · ·暮らし全(本に着目し	 たアセスメ	 ントの実施	 と計画への反映	
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に					特になし。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居
	偏らないよう、適時適切に利		0				■ 宅での生活状況の変化の継続的な
	用者宅を訪問することで、家	「貝休的な	└ └状況•取組	 内容]			把握」という視点から、充足度を
	族等を含めた居宅での生活				こ、状態変		評価します
	状況の変化を継続的に把握				員が自宅に		
		,			, – .		
	している			努めている	-		を含めた居宅での生活状況を把握
					家族とコミ		するためにも重要です
		ュニケー	ションを図	引り、できる	るだけ生活		
		状況を把	握するよう	に努めてレ	る。		

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
3 7	 利用者等の状況変化や目標の達成	いる いる	る 盟士ス関係	夕職種レの	い い い い はお出右		
18		(小小儿 寸 (〜):	対りの対応	304联/里 C V	/	#±1 = 3 \ 1	/ 「利田老然の仏辺亦小の日標の法
10	O 利用者等の状況変化や目標		0			特になし。	✓「利用者等の状況変化や目標の達
	の達成状況等について、主治					-	成状況等の事業所内外を含む関係
	医など、事業所内外を含む関	[具体的な	计况•取組	<u>[内容]</u>			多職種との情報共有」について、
	係多職種と情報が共有され	主治医へ	は、必要に	応じて連絡	各しており、		充足度を評価します
	ている	退院時に	は病院のカ	コンファレ	ンスにも参		
		加してい	る。				
(3)		LUIONIA 的なサービ	 スの提供			<u>I</u>	
1) 2	介護職と看護職の相互の専門性を	生かした	柔軟なサー	ビスの提供	.		
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ					特になし。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活か
	の専門性を最大限に活かし		0				した役割分担」について、充足度
	ながら、柔軟な役割分担が行	「旦体的な	└ ᠺ状況•取組	 内容]			を評価します
	われている				見交換を実		✓ 介護・看護が一体的に提供される
	4-40 (4-9)				元文揆を天て確認して		看護小規模多機能型居宅介護で
		-	4 U-C 4 UVJ15	ス百川に「フVヽ	て 作用的 して		は、効果的・効率的なサービス提
		いる。					
							供のために、各々の専門性を活か
							した役割分担や、業務の状況等に
							応じた柔軟な役割分担を行うこと
							が重要です

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	H I IMI ZV C	できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
20	O 利用者等の状況について、介 護職と看護職が互いに情報	0				毎回、連絡ノートに書いても らっており、連携できている	✓ 「介護職と看護職の情報共有およ び対応策の検討」について、充足
	を共有し対応策を検討する	[具体的な	状況•取組		1	と思うので、よくできている	度を評価します
	など、両職種間の連携が行わ	月2回ケ	ア会議を開		共有してお	で良い。	
	れている	り、必要	に応じて路	高時にカン	ファレンス		
		を開催し	ている。				
2 =	- 看護職から介護職への情報提供お	よび提案					
21	O 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・	0				特になし。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ
	心身の機能の維持回復など	[具体的な	状況•取組	内容]			いて、充足度を評価します
	の観点から、情報提供や提案	主治医と	の連携によ	こり、必要な	な情報を得		✔ このような情報提供や提案等は、
	等を行っている	て、迅速	な指示が出	せるよう	看護師と介		看護職の専門性を活かした役割の
		護職員が	連携してい	る。			1つとして期待されます
		また、月	2回ケア会	(議を開催	し情報共有		
		しており	、必要に応	ぶじて臨時に	こカンファ		
		レンスを	開催してい	る。			
(4)	利用者等との情報及び意識の共有						
1) 7	利用者等に対するサービスの趣旨	及び特徴等	等について	の情報提供			
22	O サービスの趣旨および特徴		0			特になし。	✔ 「利用者等の理解」について、充
	等について、分かりやすく説						足度を評価します
	明し、利用者等の理解を得て	[具体的な	状況•取組	内容]			
	いる	サービス	導入時には	はパンフレ	ットを使用		
		し説明し	ており、葬	契約書及び1	重要事項説		
		明書を交	付している	0			

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
2 7	利用者等への「在宅での療養生活	5」に係る打	指導・説明				
23	O 作成した計画の内容や在宅 での療養生活の継続に向け		0			特になし。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
	て留意すべき点等について、	[具体的な	ὰ状況•取組	[内容]			
	分かりやすく説明し、利用者	ケアプラ	ンに同意を	と得ており、	. 残存能力		
	等の理解を得ている	の維持の	支援や留意	意点につい	て説明して		
		いる。					
24	O 利用者等が行う医療処置や	0				特になし。	✓ 「利用者等の理解」について、充
	医療機器の取り扱い方法、家						足度を評価します
	族等が行うケアの提供方法	[具体的な	状況•取組	[内容]			
	等について、分かりやすく説	看護師が	自宅へ訪問]し、指導し	ている。		
	明し、利用者等の理解を得て	また、福	祉用具貸与	5事業所等、	、必要な外		
	いる	部事業所	とも連携を	図っている	,)。		
	~ hu > > 10 A > // 1 Um> - > >			bb) !!	() H ()		
	重度化した場合や終末期における	対応方針の	の、利用者	等との相談	€と共有 ⊤		
25	〇 利用者本人 (意思の決定・表					特になし。	✓「サービス提供への適切な反映」
	示ができない場合は家族等)						について、充足度を評価します
	の希望や意向を把握し、サー		<u> </u>				
	ビスの提供に反映している				ついて、利		
		•	族と決めて	=			
		終末期に	ついては、	対象者はな	2 L.		

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
万		できて いる	できてい る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
26	O 在宅生活の継続の可否を検 討すべき状況を予め想定し、	V 2	0			特になし。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスク を想定した上での、対応策の検討
	その際の対応方針等につい	[具体的な	状況•取組	<u>内容]</u>			と共有」について、充足度を評価
	て、利用者等と相談・共有す	状態変化	を繰り返す	一利用者に	ついてはで		します
	ることができている	きている	。不安なこ	ことなど、	随時相談で		
		きる環境	を作ってい	る。			
27	O 終末期ケアにおいて、利用者 等に適切な時期を見計らっ		0			特になし。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視
	て、予後および死までの経過 を丁寧に説明し、説明した内 容や利用者等の意向等を記 録として残している	主治医と	、家族へ診	三図り、医療	寮関係職種 を作り、記		点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録とし て残している」場合は「よくでき ている」
2. 🕯	多機関・多職種との連携						
(1)	病院・施設等との連携による円滑	で切れ目の	ないケアの)提供			
1)	病院・施設等との連携や情報共有	等による、	在宅生活	への円滑な	 :移行		
28	O 病院・施設等との連携・情報 共有等により、病院・施設等		0			特になし。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移 行」について、充足度を評価しま
	からの、利用者の円滑な在宅	[具体的な	状況•取組	.内容]			†
	生活への移行を支援してい	入院とな	った場合に	はサマリー	を作成し、		✔ 例えば、「退院・退所前のカンファ
	る	病院等へ	情報提供す	つるとともに	こ、退院が		レンスへの参加」、「利用者等に係
		決定すれば退院前カンファレンスに参加					る病院・施設等との継続した情報
		している	。また、症	病院の連携	室などと情		共有」などの取組が考えられます
		報共有を	こまめに行	っている。			

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	HT IMP X E	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	<u>る</u>	<i>V</i>	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		
2	入院・入所の可能性がある利用者	行についての	り、主治医	等との対応	方針の共有		
29	O すべての利用者について、緊					特になし。	✔ 「緊急時の対応方針等の主治医等
	急時の対応方針等を、主治医						との相談・共有」を評価します
	等と相談・共有することがで	「具体的な	└状況・取組	 [内容]			✓ 利用者の状態変化・家族等介護者
	きている				てはできて		の状況の変化など、実際に発生す
			全数ではな				る前の段階から予め対応方針等を
			<u></u>	0			主治医等と相談・共有しておくこ
							とが重要です
							こが重安しり
3	地域の医療機関等との連携による	、急変時	• 休日夜間	等に対応可	能な体制の	構築	
30	Ο 地域の医療機関等との連携					特になし。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構
	により、休日夜間等を含め		0				築」について、充足度を評価しま
	て、すべての利用者につい						す
	て、急変時に即座に対応が可	[具体的な	状況•取組	内容]			,
		協力医療	機関を定め	つており 2	4 時間対応		
	能な体制が構築されている			護師を定め			
		7697	プルゴが没有		ノくいる。		

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方		できて いる	できてい る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(2)	多職種との連携体制の構築	, 5	υ ·	,			
① i	軍営推進会議等における、利用者	行のために娘	必要となる	包括的なサ	ポートにつ	いての、多職種による検討	
31	O 運営推進会議等において、利					毎回、鳳凰槇島通信をいただ	✔ 「利用者のために必要となる、介
	用者のために必要と考えら		\circ			いているが、それ以外の取り	護保険外のサービスやインフォー
	れる包括的なサポートにつ	[具体的な	状況•取組			組みもしておられるので、も	マルサポート等を含めたケアの提
	いて、民生委員・地域包括支	サービス	向上委員会	会において、	利用者の	っと他の家族にも地域運営推	供について、多職種とともに検討・
	援センター・市区町村職員等	ために考	えられるィ	ンフォー	マルサポー	進会議へ参加してもらっては	支援を行っていくなどの取組」の
	への情報提供や提案が行わ	ト等を含	めたケアの	り提案が実施	拖できるよ	どうか?	充足度を評価します
	れている	うに、月	1回検討会	:議を実施し	ている。		✔ そのような取組をしたいことがな
							い場合は「全くできていない」
							✔ 民生委員のみでなく、自治会長や
							町会長などの住民代表も対象です
3. 🖥	誰でも安心して暮らせるまちづくりへ	の参画					
(1)	地域への積極的な情報発信及び	提案					
1)	サービスの概要及び効果等の、地	地域に向けれ	た積極的な	情報の発信			
32	Ο 運営推進会議の記録につい		\circ			特になし。	✔ 「誰でも見ることができる方法で
	て、誰でも見ることができる		O				の情報発信」と「迅速な情報発信」
	ような方法での情報発信が、	[具体的な	状況•取組	内容]			の2つの視点から、充足度を評価
	迅速に行われている	施設玄関	にファイル	を設置し、	いつでも		します
		閲覧が可	能であるカ	ぶ、情報発信	言はできて		
		いない。					

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて	できてい	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
33	ひ サービスの概要や地域において果たす役割等について、 正しい理解を広めるため、地	いる ○	3		V 1	特になし。	✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地
	域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	月1日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一	あ槇島団 コミュニラ とで、情報 設している	5 "鳳凰槇』 地へ配布す イーセン 発信してい 居宅介護 か参加し、	島通信"を けるとも ターにも配いる。 支援事業所 サービス概		域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2)	 医療ニーズの高い利用者の在宅	での療養生	活を支える	、地域拠点	としての機能	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1 3		 美所の登録	 皆以外を含	 む、地域へ	の訪問看護	 の積極的な提供	
34	O 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対 象とした訪問看護を積極的 に実施している		*状況・取組			特になし。	 ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施してないていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」 ~ 「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	пшлп	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
0 1	 医療ニーズの高い要介護者の積極	いる	1 も	l V	()		
		Mana (タリ)	\\\ \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			114) = 1.)	([ft=lat] 1 1 1 1 1 1 1 1 1
35	O 「たん吸引」を必要とする要					特になし。	✓ 「積極的な受け入れ」について、
	介護者を受け入れることが						充足度を評価してください
	できる体制が整っており、積		-\L\:\□	letata 1			✓ 「受け入れることができる体制」
	極的に受け入れている		<u> </u>		7		が整っていない場合は、「全くでき
		受人れが	できる体制	Jは整ってV	いない。		ていない」
							✓ 「あまりできていない」~「よく」
							できている」は、その「積極性」
							の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする					 特になし。	✓ 「積極的な受け入れ」について、
	要介護者を受け入れること					10.00	充足度を評価してください
	ができる体制が整っており、						✓ 「受け入れることができる体制」
	積極的に受け入れている	「具体的な	∵状況∙取組	 [内容]			が整っていない場合は、「全くでき
	付きをは、一方では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ			· 対象者な	. [5		
		20,700		○ \\1 \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	× 0°		ていない」
							✓ 「あまりできていない」~「よく」
							できている」は、その「積極性」
							の視点から、充足度を評価します

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	,	できて	できてい	きていな	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている			い 〇 【 内容】 れしている	·	特になし。	 ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」~「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3)	地域包括ケアシステムの構築に向	句けての、ま	きちづくりへ	の参画			
1 3	行政の地域包括ケアシステム構築	ミに係る方針	計や計画の	理解			
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げ		0			特になし。	✓ 「内容等の理解」について、その 充足度を評価します
	ている、地域包括ケアシステ	[具体的な	状況•取組	.内容]			✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ
	ムの構築方針や計画の内容	地域包括	ケアシス	テムの研修	を会を実施 かんこう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゅう しゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう		たっては、その中で各々が果たす
	等について理解している	し、理解	を推進して	いる。			べき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」

39				事業所	自己評価			
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開 39 ○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定していて、特定の集合住宅等に限定していて、特定の集合住宅等に限定していて、特定の集合住宅等に限定している。 「具体的な状況・取組内容」 特定の集合性宅等に限定している。 「現体している。 ② 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等 40 ○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等の機業等が行われている 「具体的な状況・取組内容」 特になし。 「課題提起や改善策の提案等の機能的な課題提起等はできていない。 「具体的な状況・取組内容」 「具体的な状況・取組内容」 「現代者等への積極的な課題提起等はできていない。 「課題提起や改善策の提案等の提案等の規係者等への積極的な課題提起等はできていない。」 「課題提起や改善策の提案等の提案等の規係者等への積極的な課題提起等はできていない。」 「課題提起や改善策の提案等の提案等の規係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「課題提起や改善策の提案等の提案等の規係者等への積極的な課題提起等はできていない。」 「課題提起を改善策の提案等の提案等の規係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「課題提起や改善策の提案等の提案等の規係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「課題提起を改善策の提案等の規係者等への積極的な課題提起等はできている場合は、サービスの提供等を通て得た情報や知見、多様な関係とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやインオーマルサービスの開発・信用等利用者等のみでなく地域におけ、課題や改善策を関係者に対して、案していくなどの役割も期待さ、ます	番	評価項目	•	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開 39 ○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定してい、地域への積極的な展開」にいて、	号				-	1 2 1 0	コメント記入欄	評価にあたっての補足
39		は、はっ担併におけて (性学の		_		,		
いて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している。 「具体的な状況・取組内容」 特定の集合住宅等に限定せず、サービスを提供している。 ② 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等 40 〇 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等の指案等が行われている 「具体的な状況・取組内容」関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「具体的な状況・取組内容」関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「具体的な状況・取組内容」関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「課題提起や改善策の提案等の提案等が行われている」 「実になし。 「課題を必要を対します 「人参は、サービスの提供等を通いない。」 「表記を辞していて、その充足度を評します 「人参は、サービスの提供等を通いない。」 「表記を記述していて、その充足度を評します 「人参は、サービスの提供等を通いない。」 「表記を記述していて、その充足度を評します 「人参は、サービスの提供等を通いない。」 「表記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述していて、をの充足度を評します 「本記を記述しているとの充足度を評します 「本記を記述していない。」 「本記を記述していて、その充足度を評します 「本記を記述していて、表に表していて、表に表していて、その充足度を評します 「本記を記述していて、表に表していて、表に表していて、表に表していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい			建物寺に砂	にたしなり	地域への)	丧/荆 ┌	(Id-) - 2-)	
いて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している。 【具体的な状況・取組内容】 特定の集合住宅等に限定せず、サービスを提供している。 【具体的な状況・取組内容】 特定の集合住宅等に限定せず、サービスを提供している。 【具体的な状況・取組内容】 を提供している。 【表述して総能していくことが、持されます ・ 特定の集合住宅等のみを対象とでいる場合は「全くできていないの関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等の。	39	O サービスの提供エリアにつ					特になし。 	
 定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している にサービスを提供している。 (事定の集合住宅等に限定せず、サービスを提供している。を提供している。 (事定の集合住宅等に限定せず、サービスを提供している。を提供している。 (事定の集合住宅等に限定せるこなく、地域全体の在宅療養を支る核として機能していくことが、待されます。 「特定の集合住宅等のみを対象とでいる場合は「全くできていないの関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等の。		いて、特定の集合住宅等に限						
にサービスを提供している 特定の集合住宅等に限定せず、サービスを提供している。 特定の集合住宅等に限定するこなく、地域全体の在宅療養を支 な核として機能していくことが、待されます 特定の集合住宅等のみを対象と		定せず、地域に対して積極的	[具体的な	∜状況・取組	[内容]			
を提供している。		にサービスを提供している	特定の集	合住宅等に	こ限定せず、	、サービス		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等 40 ○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている [具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はでき ていない。 [具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はでき でいない。 「課題提起や改善策の提案等の。 組」について、その充足度を評します く 今後は、サービスの提供等を通て得た情報や知見、多様な関係とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやインオーマルサービスの開発・活用等利用者等のみでなく地域におけ、課題や改善策を関係者に対して、案していくなどの役割も期待さます			を提供し	ている。		•		なく、地域全体の在宅療養を支え
② 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等 40 ○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等の提案等が行われている 「具体的な状況・取組内容」関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「具体的な状況・取組内容」関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「農体的な状況・取組内容」関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「農体的な状況・取組内容」関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「現場になり、一般では、サービスの提供等を通て得た情報や知見、多様な関係とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやインオーマルサービスの開発・活用等利用者等のみでなく地域におけ、課題や改善策を関係者に対して、案していくなどの役割も期待さます			2 1/2/ (3					る核として機能していくことが期
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等 40 〇 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている [具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はでき ていない。 [具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はでき ていない。 「課題提起や改善策の提案等の 組」について、その充足度を評します く 今後は、サービスの提供等を通て得た情報や知見、多様な関係とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやイン オーマルサービスの開発 活用等 利用者等のみでなく地域におけ 課題や改善策を関係者に対して 案していくなどの役割も期待さ、ます								
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等 40 〇 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はでき ていない。 「課題提起や改善策の提案等の 組」について、その充足度を評します く 今後は、サービスの提供等を通 て得た情報や知見、多様な関係 とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやイン オーマルサービスの開発 活用等 利用者等のみでなく地域におけ 課題や改善策を関係者に対して 案していくなどの役割も期待さます								
40 ○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等の提案等が行われている 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「課題提起や改善策の提案等の。組」について、その充足度を評します 「会後は、サービスの提供等を通て得た情報や知見、多様な関係とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやインオーマルサービスの開発活用等利用者等のみでなく地域におけ課題や改善策を関係者に対して案していくなどの役割も期待さます								ている場合は「全くできていない」
の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている [具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 [具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 [具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 [具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 [具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はできている。 「具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はできている。 「具体的な状況・取組内容] 関係者等への積極的な課題提起等はできている。 「現場では、サービスの提供等を通て得た情報や知見、多様な関係とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやインオーマルサービスの開発・活用等利用者等のみでなく地域におけ、課題や改善策を関係者に対して案していくなどの役割も期待されます。 「現場では、サービスの提供等を通べ、サービスの提供等を通べ、サービスの提供等を通べる。 「現場では、サービスの提供等を通べる。」 「現場では、サービスの関係を通べる。」 「は、サービスの関係を通べる。」 「現場では、サービスの関係を通べる。」 「現場では、サービスの関係を通べる。」 「現場では、サービスの関係を通べる。」 「現場では、サービスの表情では、サービスの関係を通べる。」 「現場では、サービスの表情では、サールで	3) 5	安心して暮らせるまちづくりに向	けた、関係	系者等への	積極的な課	題提起、改	善策の検討等	
で課題提起や改善策の提案 等が行われている 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はできている。 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はできている。 「具体的な状況・取組内容」 関係者等への積極的な課題提起等はできている。 「現を情報や知見、多様な関係とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやインオーマルサービスの開発活用等利用者等のみでなく地域におけ、課題や改善策を関係者に対して、案していくなどの役割も期待さます。 「表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	40	O 介護・看護の観点から、地域					特になし。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取
等が行われている 具体的な状況・取組内容		の関係者に対し、必要に応じ						組」について、その充足度を評価
等が行われている 関係者等への積極的な課題提起等はできていない。 ✓ 今後は、サービスの提供等を通て得た情報や知見、多様な関係とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやインオーマルサービスの開発・活用等利用者等のみでなく地域におけ、課題や改善策を関係者に対して実していくなどの役割も期待されます。		て課題提起や改善策の提案	「目 <i>は</i> かか	░ ░▞▀░▀▗▐▆▓				します
ていない。 て得た情報や知見、多様な関係とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやインオーマルサービスの開発・活用等利用者等のみでなく地域におけ課題や改善策を関係者に対して実していくなどの役割も期待されます		等が行われている				+7 <i>6</i> 47, 1, +		✓ 今後は、サービスの提供等を通じ
とのネットワーク等を活用し、要となる保険外サービスやインオーマルサービスの開発・活用等利用者等のみでなく地域におけ課題や改善策を関係者に対して案していくなどの役割も期待さます					りな課題促	起等はでさ		て得た情報や知見、多様な関係者
要となる保険外サービスやイン オーマルサービスの開発・活用等 利用者等のみでなく地域におけ 課題や改善策を関係者に対して 案していくなどの役割も期待されます			ていない	0				
オーマルサービスの開発・活用等 利用者等のみでなく地域におけ 課題や改善策を関係者に対して 案していくなどの役割も期待されます								, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
利用者等のみでなく地域におけ 課題や改善策を関係者に対して 案していくなどの役割も期待され ます								
課題や改善策を関係者に対して 案していくなどの役割も期待されます								
案していくなどの役割も期待されます								
ます								課題や改善策を関係者に対して提
								案していくなどの役割も期待され
✓ そのような取組をしたことがな								ます
								✔ そのような取組をしたことがない
場合は、「全くできていない」								場合は、「全くできていない」

		事業所自己評価					
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
41	O 家族等や近隣住民などに対	V .,2	0	V ·	V.	特になし。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介
	し、その介護力の引き出しや						護力の引き出しや向上のための取
	向上のための具体的な取組	[具体的な状況・取組内容]					組」について、その充足度を評価
	等が行われている	認知症についての理解等が深めるよう			深めるよう		します
		に、地域住民へ認知症サポーター養成研			ター養成研		✔ 今後は、利用者への家族等や近隣
		修を開催した。					住民の関わりを促しながら、関係
							者全員の介護力を最大限に高める
							ことにより、在宅での療養生活を
							支えていくための環境を整えてい
							くなどの役割も期待されます
							✔ そのような取組をしたことがない
							場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ш	結果評価			
1	計画目標の達成			
42	O サービスの導入により、利用 者ごとの計画目標が達成さ れている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] モニタリングにて計画目標が達成されているか確認している。	特になし。	✓ 「計画目標の達成」について、評価 します
2	ー 在宅での療養生活の継続に対する	安心感		
43	○ サービスの導入により、利用 者およびその家族等におい て、医療が必要な状況下にお いての在宅での療養生活の 継続に対し、安心感が得られ ている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 年1回、利用者及び家族に対して、満足度アンケートを実施し、アンケート結果を基に改善できるように努めている。	特になし。	 ✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用 者およびその家族等に対し、サービ スの提供により実現された「医療が 必要な状況下においての、在宅での 療養生活の継続に対する安心感」に ついて、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	O サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	 はぼ全ての利用者について、達成されている 利用者の2/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3には満たない 看取りの希望者はいない 具体的な状況・取組内容] 看取りの希望者はいない 	特になし。	 ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5.看取りの希望者はいない」